

2022年4月29日

公益社団法人 大阪自然環境保全協会

自然体験イベント事故情報

事故名	調理中にスライサーで手指先を切創	被災者	年齢 10歳未満	性別 男
事故状況	発生日時 2022年 3 月 27 日 (日) 午前 10時			
	発生場所 公園・ <u>里山</u> ・海・川・溪谷・その他			
	事故状況 (何をして、どのように、どうなった) 「カレーライスを本当に手作りするPJ」でじゃがいもを、大き目の大根おろし(スライサー付)でスライスしていたところ、右手人差し指の指先を切創した。 こども3人の調理補助としてリーダー1名がついて、指導をしていた。 「カレーライスを本当に手作りするPJ」でじゃがいもを、大き目の大根おろし(スライサー付)でスライスしていたところ、右手人差し指の指先を切創した。 こども3人の調理補助としてリーダー1名がついて、指導をしていた。指を切らないようにスライサーの使い方を教えている際に、別の子どもから質問が来たので、そちらに答えているうちに、スライスを始めて指を切っていたという状況。			
事故処置	誰が、どのように処置 担当スタッフと参加者でアルコール消毒と止血を行った。応急措置で5~10分程止血を試みたが、止まらない様子でしたので、母親といっしょに自宅近くの大阪警察病院で受診をした(事故当日)。			
	ケガの部位・症状 右手人差し指の指先。「切創」と診断。			
	推定原因と再発防止策は (分かる範囲で記入下さい) <被災者・イベント主催者の再発防止策> 子どもが刃物を使用する場合は、監督者である大人が目を見守り、危険な状態であれば注意する。			
総務部会 コメント (案)	○刃物を使う調理では、指先の切創事故は想定されるものなので、それぞれの参加者の経験なども聞いておき、使う器具を適切に選択するとともに、事前に使い方などを十分に指導しておく必要があるだろう。今回は安全面を考えてスライサーを使用し、使用方法も指導していたとのことだが、器具の説明を終えてからその器具を渡すべきだった。 ○止血がうまくできなかった点は、状況がわからないが、スタッフへの救急法の事前の研修なども必要だろう。 ○子どもたちにとっては、野外で調理をするという体験は貴重なものなので、危険だからやめるのではなく、子どもたちが安全に調理できるように、調理器具や材料、調理場所などを事前に確認し、調理中も危険な使い方をしていないかを指導することが重要である。			